

令和6年度（2024年度）
社会福祉法人いなほ福祉会 平見ハイツ 事業報告

1. 利用登録者数と利用実績（令和7年3月末）

【利用登録者数】10名（男性 5名・女性 5名）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日
延利用人数	278	280	274	260	257	270	269	262	234	204	226	277	3,091人
1日平均	9.3	9.0	9.1	7.6	8.4	9.0	9.3	8.7	7.5	6.6	8.1	8.9	8.5人

令和5年度 延利用人数 3,209人 1日平均 8.8人

<障害支援区分の分布>

区分6	区分5	区分4	区分3	区分2
2名	2名	2名	2名	2名

<平均障害支援区分 4.03>

2. 職員体制（令和5年3月末）

職 種	定 数	現 員
管 理 者	1	1
サービス管理責任者	1	1
生活支援員	1. 5	5
世話人	1. 4	9
計	4. 9名	16名

3. 今年度の重点方針

- ① 入居者一人一人の人権を守り本人主体の生活が送れるよう、職員の人権意識を高めます。
 - ・職員会議での学習や法人研修会で人権について学び、福祉職員としての資質向上に努めました。また、入居者への関わりや支援で大切にしている事等を具体的な場面で伝えました。前々年度に確認した「不適切な支援」について、繰り返す事のないよう、本人主体の生活を守り、職員の人権意識や資質の向上は継続した課題になります。
- ② 入居者の希望や思いを察知できるよう努め、ハイツで安心して豊かな生活が送れるよう支援を行います。
 - ・家族や作業所等からの情報を職員間で共有し、生活の中での小さな変化を見逃さないようにしながら、入居者の思いをくみ取ることを大切に支援しました。
- ③ 平見ハイツが「自分の家」となり、入居者同士と一緒に暮らす仲間と思えるような暮らしをめざします。家族の高齢化に備えて、帰省しなくても安心して暮らせる生活支援や休日の過ごし方等、ハイツでの暮らしや支援の在り方を検討します。
 - ・休日は帰省することが習慣となっている方も安心してハイツで休日を過ごせられるよう、必要に応じて余暇支援等の対応を行いました。また、入居屋が受け身ではなく暮らしの主体であることを、支援者が考える機会を持つようにしました。休日の過ごし方の他、今後もハイ

ツでの生活が入居者それぞれの暮らしになるよう、支援の在り方の検討を継続していく必要があります。

4. 入居者への提供サービス

(1) 〔個別支援計画〕

①本人や家族の意向を聞きながら、「個別支援計画」を策定し、計画の実施、並びに適時見直しを行いました。

(2) 〔生活支援〕

入居者の豊かな暮らしに繋がることを大切にしながら支援を行いました。

①食事の提供（朝食と夕食）

- ・栄養管理、買い物、食事準備、必要に応じた昼食の提供
- ・食堂、台所、食器等の衛生保持と管理
- ・献立記録

※偏食の入居者への食事を工夫しながら行いました。

②金銭出納にかかる支援

- ・入居者負担金（利用料・入居費）の管理
- ・金銭出納帳の管理
- ・入居者個別の金銭管理

③健康にかかる支援

- ・服薬、通院、受診等の管理、相談、助言、同行
- ・規則正しい生活、清潔、衛生面についての相談、助言、支援
- ・朝、夕の健康状態の確認

④日常生活場面における支援

- ・福祉サービス事業所、職場、交友関係、家族との関係、個人生活、社会生活にかかる相談、助言、連絡、調整、支援

⑤行政機関等の手続きにかかる相談、助言、連絡、調整、支援

⑥職場訪問や余暇活動への相談、助言、連絡、調整、支援

⑦緊急時（事故・病気等）の対応

⑧地域行事への参加と住民との交流をはかる

⑨その他

- ・ハイツでの生活が豊かになるよう、休日の過ごし方等、生活を楽しむ工夫を行いました。

(3) 〔入居者自治の育成〕

①入居者の自治や余暇等への各種支援

- ・日常の生活の中で職員が仲立ちとなり入居者同士の関係づくりや交流等、関わりが持てるような機会を大切にしました。

5. 緊急時の対応

緊急時の対応をする案件はありませんでした。

※9/20に110番非常通報装置の誤発報があり警察官の出動を受けました。

6. 事故発生時の対応

事故発生時の対応をする案件はありませんでした。

7. 虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成 2名

【虐待案件】 0件

【身体拘束発生案件】 0件

【不適切支援案件】 0件

8. 苦情解決実績報告

苦情の案件はありませんでした。

9. 職員（援助者）の援助技術の向上

(1) 職員会議の実績報告

・支援職員全体会議	→	12回開催（感染予防のため7月のみ、紙面上での情報共有）
・運営会議	→	3回開催
・個別支援計画策定会議	→	2回開催

(2) 職員研修の実績報告

【内部研修】

日程	主催	研修内容	講師	参加人数
5月2日	いなほ福祉会	コミュニケーションの苦手な子どもたち・こだわりの強い子どもたち～自閉スペクトラム症の視点から～	浜松学院大学短期大学部教授 志村浩二氏	2名
5月20日	平見ハイツ	コミュニケーションの苦手な子どもたち・こだわりの強い子どもたち	動画視聴研修	11名
6月18日	平見ハイツ	火災報知器、非常通報装置について	平見ハイツ主任	11名
		食中毒・感染症を予防する手洗い研修	安全管理感染症対策委員	
6月29日	いなほ福祉会	虐待防止・人権擁護伝達研修 後日 伝達研修	人権擁護推進委員	15名 1名
9月19日	いなほ福祉会	防災教育（和歌山県基礎講座）	那智勝浦町役場総務課防災対策室藤社氏、汐見氏	2名
10月22日	いなほ福祉会	BCP（災害）の周知 防災対策体験ゲーム	災害対策委員	14名
11月20日	いなほ福祉会	保育現場で活かす接遇スキル	一井愛理子	2名

12月18日	平見ハイツ	B C P（感染症）の周知 感染者が出た場合のシュミレーション訓練	安全管理感染症対策委員	10名
2月18日	平見ハイツ	口腔ケアの必要性について 介助磨きの実践	歯科衛生士 山崎氏	11名
3月18日	平見ハイツ	地震災害時のシュミレーション 災害用伝言ダイヤルについて	災害対策委員	10名

【外部研修】

日程	主催	研修内容	講師等	参加人数
10月30日 11月6日	和歌山県福祉事業団	令和6年度和歌山県サービス管理責任者等更新研修	和歌山県自立支援協議会 人材育成部会	1名
12月3,4日	和歌山県	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	和歌山県自立支援協議会 人材育成部会	1名
1月23,24日	和歌山県	強度行動障害支援者養成研修 (実践研修)	和歌山県自立支援協議会 人材育成部会	1名

10. その他の業務

(1) 法人内利用者の宿泊体験実習の受け入れ

〔令和6年度利用実績〕

日中一時利用	利用者	0名	延べ利用人数	0名（0時間）
宿泊体験利用	利用者	5名	延べ利用人数	12名（12泊）
作業所職員による宿泊支援回数			3回（同泊）	

※本年度は、家庭の都合による利用や宿泊体験利用を一部再開しました。

しかし、感染症流行時期は利用を控えていただきました。

また、2月中旬からショートステイ室を入居者の居室として利用することになり、宿泊体験利用の受け入れを休止しました。